

市民の命を守る政治を！市民派無所属
府中市議会議員／会派 市民の風

ゆうきりょう

市政
通信



毎日ブログ更新中

ゆうきりょう

電話 090-4136-7642



府中市の地元応援商品券デジタル版「ふちゅチケ」のあり方に、市民から異議あり！・市税3億5千万を投じた価値はあったのか！？

デジタル版「ふちゅチケ」の購入方法・・・今時二つのカードしか使えない？！VISAカードとマスターカードを持ってない人は、デジタル版「ふちゅチケ」を購入できない！驚きと怒りがこみあげた

府中市が地域経済活性化を目的に実施した、デジタル版「ふちゅチケ」が10月から販売され、市内店舗でも流通されていますが、私あてに多数の市民の方から、そのあり方について疑問や意見のお声をいただきました。今回は市民の方からいただいた声を紹介します。この問題については、私もみなさんからいただいたお声をもとに、市議会で質したいと考えています。

市民の声1 読んでいて頭が痛くなるメールの説明

地元応援商品券「ふちゅチケ」のスマホ対応型の当選通知を受け取りましたが、私（65歳を過ぎたもの）からすると、非常にわかりにくいメールの内容、読んでいっうちに頭が痛くなり、読む気にもなりません。

またその購入方法については「クレジットカードのみ」とのことで、しかも「VISAカードとマスターカードのみ利用可能」となっていました。申し込み時にその点について見落とした私も悪いのですが、それにしても、いま時2つの種類のカードしか使えないのには、驚きと怒りが込み上げてきました。せっかく購入して府中の店を応援したいと思って申し込みましたが・・・、ただただ、がっかりで仕方ありません。（市民の方の声より）



集と解析ができる、③現金管理の手間とリスクの低減、④購買意欲の維持・改善などがあるようです。

デメリットは、①導入コストがかかる、②決済手数料がかかるなどが挙げられます。これらのメリット、デメリットのうち、「ふちゅチケ」ではどこに焦点を充ててどのくらいの効果を期待しているのか。例えばレジ業務の効率化であれば通常の現金決済に比べて何秒くらい無駄が省けるのか、といったような目標設定がされているのかということです。逆にこの目標設定が明確であれば、システムを発注する際に業者に要件を示すことで目的、目標に合致したシステムができるはずで（市民の方の声より）

市民の声4 そもそもデジタル版「ふちゅチケ」の販売を知らなかった・・・市民の税金を投じるのだから、市民への周知を広く行うのが行政の責務

デジタル版「ふちゅチケ」が販売されていたことをまったく知らず、購入ができませんでした。府中駅の「アートマン」の店舗でポスターを見て初めて知り、インターネットで検索して詳細を知りました。昨年の「ふちゅチケ」は自宅にハガキが来ていたような気がします。「広報ふちゅ」にお知らせが掲載されていたということですが、恐らくうちには届いていません。この間は「緊急事態宣言」が出ていたのと在宅勤務をしていて、外出は最低限の食料品や日用品の買い物にしか行ってなく、ポスターを見かけたこともありませんでした。「ふちゅチケ」については、税金を使っているのですから、市民への周知を徹底するべきではないでしょうか。（市民の方からの声より）

市民の声2 高齢者にはカード型「ふちゅチケ」がよいのだが、使える店舗が少ない！

私もスマホ型「ふちゅチケ」を何回か使いましたが、消費者側もお店側も現金で購入するよりはるかに手間がかかります。なぜこのようなシステムになってしまったのか疑問です。またデジタル版「ふちゅチケ」のカードを交換して、使用できる店舗をみたのですが、スマホ対応の店が多いです。スーパーマーケットは今回参加していないところが多く、「オオゼキ」くらいしかありません。これでは不自由ですが、こうした苦情は結構あるのではないのでしょうか。「カード型に変更したい」と要望しても、すでに申し込んだ選択以外は「不可能」とのことです。これでは、「プレミアム付き商品券」どころか、使いきれない事態もあるのではないかと思います。（市民の方の声より）

府中市ではデジタル版「ふちゅチケ」のスマホ型商品券について、期間内に購入しなかった余剰分を再販売することです。購入を希望される方は「ふちゅチケ」コールセンターにお問合せください。
★価格・・・1セット5000円（1セット7000円分）
★申し込み期間・・・11月1日～21日
★問い合わせ先・・・「ふちゅチケ」コールセンター 電話042-521-5613、または、むさし府中商工会議所 電話042-362-6421

市民の声3 市税を投じて実施した事業の検証が必須・・・デジタル版「ふちゅチケ」のメリットとデメリットの分析をすべき

デジタル版「ふちゅチケ」でいえば、「ふちゅチケ」自体の目的と、デジタル版にした目的の2つは最低限明らかにした上で、どういう効果を期待しているのかということが明確になっている必要があります。今回のデジタル版「ふちゅチケ」でいえば、デジタル化、すなわち電子決済の一般的なメリットはなにか、①レジ業務の効率化、②販売情報・顧客情報の取

ゆうきりょう のラジオパーソナリティ番組・・・ラジオフューズ（87.4MHz）「府中市議会議員 ゆうきりょう 市民の風」、毎週火曜日22時45分から6分間放送中、毎週日曜日にも再放送。府中市の話題、市政の動きについて毎週情報を発信しています。ぜひお聴きください。



朝の駅頭市政報告について

私の朝の駅頭あいさつについて、原則、毎朝下記の予定で行っています。駅頭では「市政通信」を配布しています。市政相談、生活相談なども受け付けています。なお雨天時や、自身の都合により中止の場合もあります。お気軽にお声をおかけください。（朝8時まで）

月曜日・・・西武線多磨駅東口 火曜日・・・予備日 水曜日・・・京王線府中駅北口
木曜日・・・西武線多磨駅西口 金曜日・・・京王線多磨霊園駅

ゆうきりょうに市政などへのご意見、ご要望、苦情などお寄せください。
アドレス yuki4551@ozzio.jp 電話 090-4136-7642 住所 府中市紅葉丘2-6-3 メイプルタウン吉野D202
※電話の場合は、留守電にコメントを入れてください（電話にでられない場合があります）。
※ゆうきりょうはブログを毎日更新していますので、ぜひご覧ください。
「ホームページ検索→ゆうきりょう」

ゆうきりょう

府中市の小中学校でもタブレット端末によるいじめ防止対策を

タブレット端末でなりすましにより、チャットで悪口を書き込む・・・
町田市女子児童のいじめ



学校の写真はイメージ写真です

この間新聞報道でも伝えられていますが、先日、町田市の女子児童（小学6年）がいじめを苦に自殺するという痛ましい事件がありました。その大きな原因の1つに、「タブレット端末上のチャットでいじめがエスカレートした可能性がある」と伝えられています。

この事件で読売新聞によると、女子児童の親御さんは「娘を中傷するチャットの内容を、誰もが閲覧できるという異常な状態が続いていた」と話しているそうです。また記事では「チャットは通常、当人同士しか閲覧できないが、女兒の学校では当時、端末利用に必要なIDについては通し番号などから類推でき、パスワードは全員共通としたことで、当事者になりすましてチャットの内容をのぞき見することが可能だった」とのことです。新聞でも指摘していますが、オンライン教育の普及に伴い、文部科学省は『パスワードを他人に知られないように』などと指導してきましたが、町田市では基本的な対策が取られていませんでした。

GIGAスクール構想を実践してきた府中市でも早急に対策を
府中市でも政府の「GIGAスクール構想」をいち早く取り入れ、今年からタブレット端末を児童生徒に一人1台ずつ配布。この9月市議会の補正予算では「学校教育ネットワーク事業費」として「GIGAスクール構想」加速化のために9800万円の予算を計上しています。ICT教育は今後、コロナ禍における新型コロナ感染拡大防止のほか、様々な面で積極的に推進するべきものですが、一方で陰湿な児童生徒のいじめの温床となるような事態だけは、絶対に避けなければなりません。この問題について府中市の教育委員会に対して、具体的な策を求めています。

大阪市の小中学校ではタブレット端末でいじめの相談ができるシステムに改良

大阪市の教育委員会がタブレット端末で教員にいじめなどの相談ができる機能を、市内小中学校に導入することを決めたとのこと。朝日新聞（10月29日）の記事によると「児童生徒がいじめへのSOSを出しやすい環境をつくるのがねらい」とあり、タブレット端末にいじめの相談申告機能を追加したそうです。記事のなかで市教委の担当は「対面で先生に言い出しにくい子どもたちの、相談の窓口になるとよい」としています。

文部科学省が小中学校でオンライン授業参加の児童生徒の調査書への記載について、「出席しなくてよいと認めた日数」の名称への変更を求める（全国の教育委員会に通知）

「出席停止」では調査書に不利になるのではないかと声を
上げて

10月23日付の朝日新聞朝刊に文科省が全国の教育委員会に、コロナ禍の影響で児童生徒が在宅でオンライン授業を受ける際、調査書にその日数を記載することについて、文科省が「出席停止、忌引きなどの日数」という現行の名称を変えることを可能とする通知を出したと報じています。記事では「受験生の保護者らから『オンラインというかたちで授業を受け

ているのに、出席停止の欄に日数が記載されると、入試で不利になるのではないかと心配する声が出ていた」として、今回文科省は「出席停止・忌引き・その他出席をしなくてよいと認めた日数」または、「オンラインを活用した特例の授業、出席停止、忌引きなどの日数」を名称の例としてあげたとのこと。ちなみにその名称を変更するかどうかは、各教育委員会の判断に委ねるともしています。これをうけて私も、府中市の教育委員会に対しても同様の対応をするよう要望します。

街の話題

都立農業高校正門前の国分寺街道と、桜通りの交差点の信号機の改善を求めたい（市民の方からの要望）

歩行者にとって渡る時間が短い桜通り交差点の信号機



農業高校正門のところの国分寺街道と桜通りの交差点の信号について、信号システムが変わり歩行者は歩行者信号で渡ることになった

のですが、それなのに斜め横断は原則不可とか書かれています（多くの歩行者は、それがばかげているので無視していますが）。ただ、ルールをきちんと守らなければならない？小学生や守ろうとする人は、よっぽど走らなければ斜め先の行きたい場所にたどり着けない。先日も学校帰りの小学生が猛ダッシュしているのを見ましたが、これではかえって危険です。以前の方式に戻すか、歩行者の青の時間を伸ばすか、どちらかに改善してほしいものです。（以上、市民の方の要望より）

※このご要望については、市民の方々からも多数寄せられているようで、他の議員さんも市や警察に要望されていると聞いていますが、改善には至っていません。私からも要望させていただきます。（市民の方からの要望より）

府中市長あてに来年度予算案にむけ、市民のみなさんの要望を提出しました

市民のみなさんからいただいた要望をもとに、府中市の高野市長あてに会派「市民の風」として、令和4年度の府中市予算に対する要望書を提出いたしました。200項目の内容となり、昨年提出した要望でも実現していない内容についても再度要望しました。

この間も議会での一般質問、また通年的に市長あてへ緊急要望書を提出していますが、いずれも市民のみなさんからいただいた意見をもとに構成しています。今後とも随時、市政に対する意見、要望などお待ちしておりますので、お気軽にメールなどでいただければ幸いです。アドレス yuki4551@ozzio.jp 電話 090-4136-7642



府中市議会議員 ゆうきりょう（結城 亮）プロフィール

昭和45年（1970年）5月11日生、横浜市青葉区出身、大東文化大学法学部卒、東京土建組合府中国立支部事務局などの仕事を経て、2015年4月から府中市議会議員（現在、2期目）。所属する委員会は現在、文教委員会、市庁舎対策特別委員会。現在は無所属で一人会派「市民の風」に所属。